



環境報告書 2019



株式会社 駒井ハルテック



REGISTERED ORGANIZATION
NO.0260-ISO 9001
NO.E2066-ISO 14001



橋梁・鉄骨
風力発電設備



目 次

	経営理念	2
	環境・品質方針	2
	中期経営計画	3
	環境マネジメントシステム	6
	環境との調和	10
	施工トピックス	17
	橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組	19
	地球温暖化防止への取組	22
	環境製品への取組（実績紹介）	23
	会社概要	24



富津工場



和歌山工場

※表紙写真：館山自動車道 湊川橋（鋼上部工）工事（千葉県君津市六手～富津市竹岡）



経営理念

『高い技術力で 夢のある社会づくりに貢献する』



環境・品質方針



基本理念

当社は、「高い技術力で、夢のある社会づくりに貢献する」との経営理念の下、以下の活動を通して社会的責任を果たす。

当社は、国民の生活基盤となる橋梁、建築鉄骨、風車などの製造、建設事業を通じて社会資本の整備に貢献しつつ、生産、建設過程における使用エネルギーや排出物（CO₂、産業廃棄物など）等の環境負荷要因の低減に取り組む。



方 針

1. 環境・品質マネジメントシステムの実効性を高める。
 - ・日常業務におけるマネジメントシステムのパフォーマンス（有効性）を確認し、業務との一体化の推進とパフォーマンス（有効性）向上に向けた改善を図る
2. 「顧客満足」をいただける製品の提供とサービス向上に努める。
 - ・製品に対する品質管理の徹底を図る
 - ・無事故、無災害を目指す
3. 環境負荷低減を目指した企業活動を展開する。
 - ・品質の向上、生産性の向上による省エネルギー、省資源に努める
 - ・環境に配慮した設計・生産・工法への取組みを継続的に行う
 - ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）に継続的に取り組む
4. コンプライアンスおよび内部統制システムの成熟に努め、責任ある企業活動を展開する。
 - ・専門的知識や技術と経験を踏まえ、総合的見地から企業活動を推進する
 - ・企業活動に関連する行動規範（法令、規制、企業倫理など）を順守し社会的責任を果たす



「中期経営計画2019」のスタートで、会社を新たな時代に！

2017年4月にスタートした3ヵ年計画「中期経営計画2017」では、「技術と品質で 社会の安全・安心と 企業の更なる成長を目指す」をテーマに掲げ、橋梁事業と鉄骨事業を主軸に、強固な経営基盤を築きあげるとともに、環境事業の海外実績を活かした海外展開、また新たな収益源を創出する事業の確立に向け、成長戦略と働き方改革に重点を置いた7つの具体的施策を着実に実行して参りました。甲斐あって、2年が経過した2019年3月期において、最終年度目標に対し、売上高は僅かに届かなかったものの、営業利益は前倒しで目標を達成することができました。

2019年度に入り、新設橋梁の受注環境の厳しさ、鉄骨の発注の端境期の長期化など事業環境の急変や、年号も平成から令和へと変わり、業界も時代も変革期、転換期を迎えました。「中期経営計画2017」の最終年度としての取組みを始動しましたが、このような環境変化に、スピード感をもって進行中の施策の強化や新たな施策にも取り組む必要があると判断し、今後の事業展開を見据えた経営計画として、新たに3.5ヵ年の「中期経営計画2019」を策定し、10月よりスタートさせました。「持続可能な社会の実現を目指し、健全な企業の成長を図る」をテーマに掲げ、4つの基本方針及び事業方針に基づく具体的な施策に取り組んで参ります。

2019年度下期は、過去に類を見ない厳しい事業環境の下、新戦略「中期経営計画2019」をスタートさせ、受注活動及び生産性向上に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染拡大などの影響も加わり、各施策の効果を十分に発揮するまでは至らず、年度目標を大きく下回る結果となりました。

2020年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、より厳しい事業環境が予想されますが、「中期経営計画2019」を具体的に進め、ワークを止めることなく、業績改善に向けた新たな対策なども講じて参ります。そして、各施策を着実に実施し、成果・効果を発揮させ、業績改善に繋がるよう全社一丸となって事業活動に取り組んで参ります。また「中期経営計画2019」の3.5ヵ年を、当社グループの経営資源を結集し、事業内、事業間、さらに事業関係者との連携を組み合わせ、グループの強みとしての総合力を活かし、営業力、技術力、収益力を強化し、急変する事業環境の下、持続的な成長・発展を図る期間と位置付けます。そして、当社創立10周年の節目を迎える2020年以降の次世代を見据え、「会社を新たな時代に動かす」ことに邁進いたします。

取締役社長 田中 進





中期経営計画



中期経営計画2019（2019年10月～2023年3月）

当社グループが2017年4月にスタートした3ヵ年計画「中期経営計画2017」は、計画2年目となる2018年度において売上高、営業利益の最終年度数値目標に対し、営業利益は前倒しで目標を達成することができました。

最終年度となる2019年度の取組みとして、眼下の事業環境を踏まえ、環境変化にスピード感を持って新たな施策にも取り組む必要があると判断し、今後の事業展開を見据えた経営計画を、改めて「中期経営計画2019」を策定いたしました。

I. 計画期間

2019年10月から2023年3月までの3.5ヵ年

II. テーマ

『持続可能な社会の実現を目指し、健全な企業の成長を図る』

III. 基本方針

1. 持続可能な社会の実現とコーポレートガバナンスの充実
2. 継続的な成長と発展
3. 信頼されるサービスの提供と技術の開発
4. 働き方改革の推進

IV. 事業方針

1. 橋梁事業は、総合力を高め、多様な構造物の受注確保と収益力の強化
2. 鉄骨事業は、技術力と顧客の信頼で受注拡大と収益力の強化
3. インフラ環境事業は、コスト競争力の強化と差別化によるチャレンジ
4. 内部統制の充実、働き方改革及び新規事業の開拓で人と企業の成長

V. 数値目標（連結）

(百万円)

(連 結)		2022年度 目 標
売 上 高	橋梁	17,000
	鉄骨	30,800
	インフラ環境他	2,200
	計	50,000
営業利益 (利益率)		3,000 (6.0%)



中期経営計画 2019（2019年10月～2023年3月）

IV. 具体的な施策

1. 持続可能な社会の実現とコーポレートガバナンスの充実

再生可能エネルギーの活用、環境に配慮した設備の導入及び既存設備の改善、更新などに積極的に取り組み、また、再生可能資源である鉄鋼加工製品の提供と風車等による再生可能エネルギー設備の普及を推進することなどにより、持続可能な社会の実現を目指し、環境変化に対応した統治体制で企業運営を図る。

2. 継続的な成長と発展

橋梁事業は、新設、補修・保全、更新などバランスを踏まえた体制構築及び新分野の構造物への挑戦による受注領域の拡大により、また、鉄骨事業は、難易度の高い構造物及び特殊な構造物への積極的な取組と共に関係会社との連携強化等による生産量の拡大により、受注拡大と収益向上を図る。インフラ環境事業は、海外での調達と生産によりコスト競争力を強化し、受注と収益の確保を目指す。

各事業共に工場及び現場の生産性向上に向けて、ICTを活用した設備及び管理システムの導入と活用を推進し、収益向上を目指す。

3. 信頼されるサービスの提供と技術の開発

各事業共に技能者不足を補う自動化設備の導入、省力化と製造のライン化で安定した生産と品質の提供など将来を見据えた次世代工場化の推進を図る。特に溶接関連の技術開発と品質向上への取組強化などにより差別化を図り、信頼されるサービスを提供する。また、品質に係る作業・保証手順の有効性を確認し品質の向上を図る。

4. 働き方改革の推進

働く場所及び労働時間などの多様性、グローバル化が進む中での海外技術者の登用などダイバーシティ推進及びRPA等を活用した業務改善などにより、働き方改革を推進する。人材に関しては、教育研修内容の充実と積極的な採用活動などにより、次世代に繋げる後継者の育成と人材の確保を図る。また、VR技術を用いた教育システムの活用などにより品質向上と災害防止を図る。



環境マネジメントシステム



会社年度方針（2019年度）

『新たな時代に向け総合力で持続的な成長と発展を図る』

1. 安全第一、品質管理の徹底
2. 事業基盤の強化と事業環境変化への迅速な対応
 - ◎ 橋梁事業：安定受注と利益率の改善
 - ◎ 鉄構事業：安定操業と収益力の向上
 - ◎ インフラ環境事業：受注拡大と収益確保
3. 働き方改革の推進と人材育成・活用
4. コンプライアンスの徹底と内部統制の充実
5. 環境・品質マネジメントシステムの有効性の評価と環境負荷の低減



環境年度目標（2019年度）

1. 環境負荷の低減
2. 環境側面管理
3. 富津、和歌山、大阪事業所の廃棄物排出量の把握
4. 3Rのうち、リデュース(減量)への取組みの強化
5. ステークホルダーへのアピール



環境マネジメントシステム



主要事業所（サイト）における環境マネジメントシステムへの取組

・富津工場

部門項目	具体的施策	結果
1. ・省エネ報告に於ける原単位での －2％／前々年度	・不具合撲滅の取組み ・空調使用の削減	・不具合再発防止策立案、品質委員会でレビュー 前年度比 - 44% ・こまめな温度管理を实践。 特に夏季、冬季の節電に注力。 ・原単位 前々年度比 13.7%増 (無人ロボットの稼働増による)
2. ・設定の管理項目の履行と効果の検証	・各フロア各部署が統一して取組めるように設定 ・ピーク電力対策 ・省エネ委員会でのデータ管理	・環境側面管理(環境影響評価表等)を管理職に展開、部署へ周知 ・毎月の使用電力値量把握：使用電力/操業時間比＝前年 5%増 (大電流溶接2交代制による増) ・使用電力管理表で節電を周知
3. ・産業廃棄物量(事業系ごみ含む)を月次集計し、四半期毎に報告すること	・産業廃棄物管理表の継続作成と活用・報告	・月次で産業廃棄物管理表を作成 ・委員会にて周知・展開
4. ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・変更を検討すること	・混合廃棄物の減量(分別の徹底) ・分別ルール周知・徹底、フロア管理 ・プリント取り忘れ、不要印刷の撲滅キャンペーン	・産廃分別を協議会等で周知を図るとともに、近年増加の外国人作業 者宛てにイラストを掲示 ・コピー機毎の使用状況を展開し、 不要印刷撲滅を啓発(委員会にて 情報共有、対応推進)
5. ・地域との関わりの中での活動の実施 (地域交流、近隣清掃など、1件/年/サ イト)	・青木自治会 さくら祭り に参加 ・青木八坂神社祭礼(神輿)に参加 ・工場周辺の清掃活動	・予定通り参加、実施

・和歌山工場

部門項目	具体的施策	結果
1. ・省エネ報告に於ける原単位での －2％／前々年度	・不具合・UTNG率半減 ・グリーンカーテン設置	・不具合(単価ベース) 28%増 ・UTNGデータ集積中 ・グリーンカーテン設置し良好 ・原単位 前々年度比 6.5%減
2. ・設定の管理項目の履行と効果の検証	・事務所および場内各職場管理による分別収集 ・事務部門での統一取り組み(グリーン購入、事務用品再利用) ・ピーク電力対策、省エネ小委員会でのデータ管理	・定着し、適切に実施、効果有り ・グリーン購入、事務用品再利用を実施、効果有り ・30分単位のデマンド管理にて調整、委員会で情報共有、随時対応 設備増強で電力使用量超過
3. ・産業廃棄物量(事業系ごみ含む)を月次集計し、四半期毎に報告すること	・産業廃棄物管理表の継続作成と活用・報告	・作成継続・報告し、小委員会で周知・活用、効果有り
4. ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・変更を検討すること	・混合廃棄物の減量(分別の徹底) ・廃棄物(リサイクル)量の把握	・分別徹底し、効果有り ・廃棄物量を把握・報告し、小委員会で周知、効果有り
5. ・地域との関わりの中での活動の実施 (地域交流、近隣清掃など、1件/年/サ イト)	・由良町古紙回収協力 ・『リフレッシュ瀬戸内』海岸清掃活動	・予定通り参加、実施、継続



環境マネジメントシステム



主要事業所（サイト）における環境マネジメントシステムへの取組

・本社

部門項目	具体的施策	結果
1. ・省エネ報告に於ける原単位での － 2 % / 前々年度	・従業員の節電意識の向上 ・空調使用の削減 ・クールビズ、ウォームビズの実施	・不在時の消灯、パソコン電源オフ等を啓蒙 ・4階空調、18時自動オフを継続 ・クールビズ：5月～10月末冷房設定を28℃に ・原単位 前々年度比 9.4%減
2. ・設定の管理項目の履行と効果の検証	・各フロア各部署が統一して取組めるように設定	・電気使用量、約6%減少 ・コピー機(枚数ベース)約7%削減 ・前年急増のため、前年比は31%減 ・例年比で測ると、13%減 ・フロン法対応、空調機点検実施
3. ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・ 変更を検討すること	・タブレット導入によるペーパーレス化 ・テナントビル方針でのゴミの分別 ・環境製品購入および再利用の促進 ・廃紙、廃棄物の削減	・会議でのタブレット使用によるペーパーレス化を推進、拡大中 ・分別を徹底 ・可能な限り“環境製品”を選定 ・機会を捉えて周知し、認識向上からの削減行動を企図した
4. ・地域との関わりの中での活動の実施 (地域交流、近隣清掃など、1件/年/サ イト)	・ライトダウンキャンペーン（環境省）を自主継続 ・台東区 大江戸清掃隊に加入	・該当日が休日のため、ノー休日出勤デーとした ・毎月の周辺清掃、および一斉清掃キャンペーンに参加

・本店

部門項目	具体的施策	結果
1. ・省エネ報告に於ける原単位での － 2 % / 前々年度	・従業員個々の節電 ・空調使用の削減	・部分的な空調調整・管理により、使用電気を削減（原単位減） ・原単位 前々年度比 11.6%減
2. ・設定の管理項目の履行と効果の検証	・各フロア各部署が統一して取組めるように設定	・1及び3の施策にて対応
3. ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・ 変更を検討すること	・テナントビル清掃方針に合わせたゴミの分別 ・環境製品購入および再利用の促進（グリーン購入） ・廃紙、廃棄物の削減 ・昼食等の際の持ち込みゴミの削減	・テナントビルおよび大阪市方針に従い適切に分別 ・可能な限り“環境製品”を選定 ・廃紙抑制のため、コピー枚数等の見える化を実施中 ・コンビニゴミの社内廃棄を禁止
4. ・地域との関わりの中での活動の実施 (地域交流、近隣清掃など、1件/年/サ イト)	・地域自治体との連携による清掃活動への参加 ・ライトダウンキャンペーン（環境省）を自主継続	・「G20大阪サミットクリーンUP作戦」「大阪マラソンクリーンUP作戦」に参加 ・該当日が休日のため、ノー休日出勤デーとした



環境マネジメントシステム



主要事業所（サイト）における環境マネジメントシステムへの取組

・大阪事業所

部門項目	具体的施策	結果
1. ・省エネ報告に於ける原単位での －2％/前々年度	・省エネパトロールの実施（月1回）による省エネ活動の徹底 ・グリーンカーテン設置による空調機電力の削減 ・工場屋根への遮熱塗装の施工による空調機電力の削減	・省エネパトロール、グリーンカーテンとも実施 ・工場屋根への遮熱塗装を実施、体感効果あり、定量評価出来ず。 ・原単位 前々年度比 10.0%減
2. ・設定の管理項目の履行と効果の検証	・省エネ推進委員会での動態観測の実施	・計画通り実施
3. ・産業廃棄物量（事業系ごみ含む）を月次集計し、四半期毎に報告すること	・産業廃棄物管理表の作成と活用・報告	・管理表作成、省エネ委で情報共有 ・水銀使用製品の産廃分別実施
4. ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・ 変更を検討すること	・省エネパトロールの実施（月1回）によるごみ減量の徹底 ・会議等におけるペーパーレス化の取組み ・省エネ推進委員会での動態観測の実施	・省エネパトロールによりごみ減量の徹底に取組み実施 ・月次会議等でのプロジェクト使用により、ペーパーレス化を実施 ・省エネ推進委員会において動態観測情報を共有
5. ・地域との関わりの中での活動の実施 （地域交流、近隣清掃など、1件/年/サイト）	・大阪マラソンクリーンUP作戦への参加 ・ライトダウンキャンペーンの自主継続 ・関西エコオフィス宣言実績報告の提出	・予定通り参加、実施 ・大阪市より感謝状を受領

・テクニカルセンター

部門項目	具体的施策	結果
1. ・省エネ報告に於ける原単位での －2％/前々年度	・従業員個々の節電 ・空調使用の削減	・LED化は次期設備更新時に実施するため見合わせとなった。 ・原単位 前々年度比 6.2%減
2. ・設定の管理項目の履行と効果の検証	・紙、ゴミの廃棄量、電気の使用量の確認 ・減CO2内容の継続と確認	・各項目とも前年度比で変化なし 新施策検討を行う
3. ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・ 変更を検討すること	・再利用の促進（古紙、ペットボトル等） ・廃棄物の削減	・第2次松戸市地球温暖化対策事業（旧減CO2）を継続実施 ・廃棄物の分別実施 ・リサイクル定量化、換金化実施
4. ・地域との関わりの中での活動の実施 （地域交流、近隣清掃など、1件/年/サイト）	・地域交流会（地元小中学生の課外授業）の実施 ・松戸TC周りの道路清掃 ・ライトダウンキャンペーンの自主継続	・松戸市教育委員会に小中学校の体験学習、会社見学の受け入れ企業として登録し、2校職場体験実施 ・近隣清掃4回/年実施 ・予定通り参加、実施



環境との調和



富津工場

7



当社では、設置場所の気象、地形条件等にあった風力発電機の開発・生産に力を注いでいるところですが、継続的な研究・開発に資するとともに、2006年9月に1号機を、2014年2月に2号機を設置し、富津工場における橋梁・鉄骨の生産工程の電力源として、再生可能エネルギーを使用しています。



富津工場：風車1，2号機（奥が2号機）

富津工場における風力発電の概要

設置者	株式会社 駒井ハルテック	
設置場所	千葉県富津市新富（駒井ハルテック内）	
用途	工場用電源 および 売電	
風力発電機	1号機	2号機
定格出力	300KW × 2基	
運転風速	3 ～ 25m/秒	
稼働開始	2006年9月	2014年2月

2019年度 富津工場における風車による発電量

（単位：KWh）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1号機	31,497	24,609	27,628	23,180	27,253	18,614	15,352	2	0	8,391	0	49,813
2号機	25,501	27,724	32,639	34,509	45,637	3,812	29,997	37,941	32,807	29,906	21,142	42,369
合計	56,998	52,333	60,267	57,689	72,890	22,426	45,349	37,943	32,807	38,297	21,142	92,182

風力による発電量が、富津工場の全使用電力量に占める割合（風力発電寄与率）は、年間約9.6%となっています。

◎ 地域交流

11



歴史ある富津八坂神社祭礼において、神輿応援隊を結成し、富津市東区の神輿渡御に参加しました。





環境との調和



和歌山工場



和歌山工場では、毎年恒例となった海岸清掃のボランティアに参加しています。さらに、古紙回収運動にも参加して、地域に貢献しています。

◎ 海岸清掃「リフレッシュ瀬戸内」：2019. 06. 22



◎ 古紙回収：白崎小学校(2019. 05. 12) (2019. 11. 10)



大阪事業所



大阪事業所では、環境省の呼びかけで始めた「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」を継続するとともに、毎年恒例となっている「グリーンカーテン」を設置し、遮熱効果による空調機への負荷低減を図るなどして、夏期の電力使用量の削減に貢献しています。

◎ グリーンカーテン



事務所 南西側

事務所 北東側



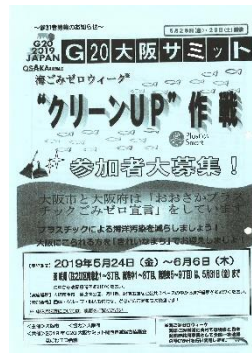
環境との調和



大阪本店・大阪事業所



本店・大阪事業所では、大阪市主催の「G20大阪サミット“クリーンUP”作戦」並びに「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」に参加し、各々のオフィス近隣の清掃活動を行いました。



・本店：2019.6.6，2019.11.29



・大阪事業所：2019.11.29



- 大阪事業所は、2017年度に大阪市環境局の「ごみ減量優良建築物」に認定され、以後継続していましたが、その活動が評価され、2019年度に大阪市長より感謝状が贈呈されました。





環境との調和



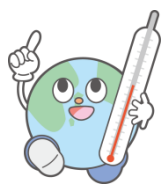
大阪事業所では、環境省の呼びかけで始めた「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」を、自主的に継続実施しました。

※ 環境省による呼びかけは2019年4月をもって終了となりました。



◎ 関西エコオフィス運動に参加

大阪本店、大阪事業所、和歌山工場は、運動の趣旨に賛同し「関西エコオフィス宣言事業所」に登録しています。



■ 「関西エコオフィス運動」

京都議定書を生んだ京都を有する関西が、全国に先駆け、地域全体が一致協力して、地球温暖化対策に取り組むことが責務であるとの認識のもと、身近なところからの省エネルギー等の取組みを実施する事業所（オフィス）を募集し、地球温暖化防止活動の裾野を広げていく運動。



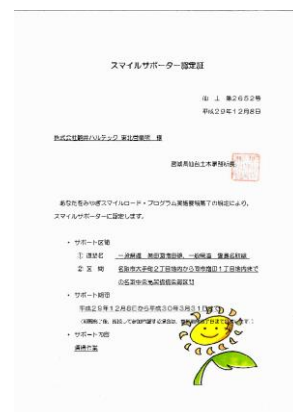
東北営業所（仙台）



東北営業所では、「名取中央高架橋上部工（床版工）工事」（宮城県仙台土木事務所）の完成後、2017年より「みやぎスマイルロード・プログラム」に参画し、スマイルサポーターとして名取中央高架橋の清掃活動に取り組んでいます（4回／年）。また、地域貢献として広瀬川一万人プロジェクトに協賛しており、2016年より広瀬川の清掃活動に取り組んでいます。（2回／年）

2019. 09. 20

2019. 09. 28





環境との調和



テクニカルセンター

テクニカルセンターでは、松戸市が2009年3月に策定した「松戸市 減CO₂（げんこつ）大作戦（松戸市地球温暖化対策地域推進計画）」に賛同し、2010年12月に「松戸市 減CO₂（げんこつ）宣言事業所」として登録し、2011年5月には[AAA（最高ランク）]に昇格して、現在も活動を継続しています。



■ 松戸市 減CO₂（げんこつ）大作戦（松戸市地球温暖化対策地域推進計画）が、2018年度から「第2次松戸市地球温暖化対策事業」としてリニューアル。テクニカルセンターも松戸市地球温暖化対策事業所として引き続き登録しました。

■ エコキャップ運動

エコキャップ運動の目的「リサイクルの促進、CO₂の削減、売却益で発展途上国の医療支援、障がい者・高齢者雇用促進」に賛同し、ペットボトルのキャップの収集を行っています。

※ 今年度は5,590個（13.0kg）を集め、40.95kgのCO₂の発生を抑えることが出来ました。



■ 職場体験学習を、2019.11.8（松戸市立第五中学校、6名）、2019.11.27～28（松戸市立常盤平中学校、3名）に実施しました。

松戸市立常盤平中学校



松戸市立第五中学校





環境との調和



インフラ環境事業部



風力発電システム



産業技術総合開発機構（NEDO）「エネルギー消費の効率化等に資する我が国技術の国際実証事業／実証／風力発電システムを含むエネルギーインフラ実証事業（ロシア連邦サハ共和国）」の一環として、ロシア連邦サハ共和国ティクシ村に、当社製風力発電機を3機納入しました。納入風車は、冬場はマイナス50℃にも達する同地の極寒冷気候にも耐えられる仕様となっています。また本事業では、風車、ディーゼル発電機、蓄電池からなる「再エネ制御協調システム」を導入しており、稼働を目前に控えています。導入前の、ディーゼル発電機のみでの発電時に比べて、燃料使用量が削減されるため、CO₂の抑制が期待されています。

完成した3機の風力発電機



オーロラと風車



COP25、ジャパンパビリオンでの中型風力発電プロジェクトの紹介



2019年12月にスペイン・マドリードで開催された『国連気候変動枠組条約（UNFCCC）における締約国会議（COP25）』に参加しました。



会場内の日本政府パビリオンで開催されたセミナーにおいて、当社製300kW 風力発電機（KWT300）の島嶼国地域への導入提案活動について発表しました。



環境との調和



太陽光発電設備（スカイソーラープロジェクト）



◎ スカイソーラーのメリット （弊社HPから抜粋）

大部分が山地である日本は平地部分が小さく、用途制限のない地域は極わずかです。そのために、多くの平面を要するメガソーラー事業に適する土地を確保しづらいのが現状です。

中村勉総合計画事務所と当社は、現状の地形や土地利用を維持しながら、上空を活用するソーラー事業を提案します。

■ ケーブル式スカイソーラー ：ハイポールに張ったケーブルに、ソーラーパネルを配置した吊構造です。



2015年8月から2016年6月まで富津工場で実証試験をし、安全性が確認されたため、松戸テクニカルセンター（TC）に移設して、商業運転を開始しました。（発電電力は東京電力に売電しています）

所在地：千葉県 松戸市

施主：（自社施設：当社 松戸TC）

形式：上空ソーラー発電システム（14.5KW）

特記事項：ケーブル懸架型空中太陽光発電装置を開発（特許取得）

支柱間：22.4m、支柱高：4.5m

■ ハイポール式スカイソーラー：等間隔に設置したハイポールに梁を通し、ソーラーパネルを配置します。



所在地：福島県 会津若松市

施主：富士電機株式会社

形式：上空ソーラー発電システム（1.3MW）

特記事項：ハイポール型太陽光発電設備架台の設計、製作、基礎工事、据付。

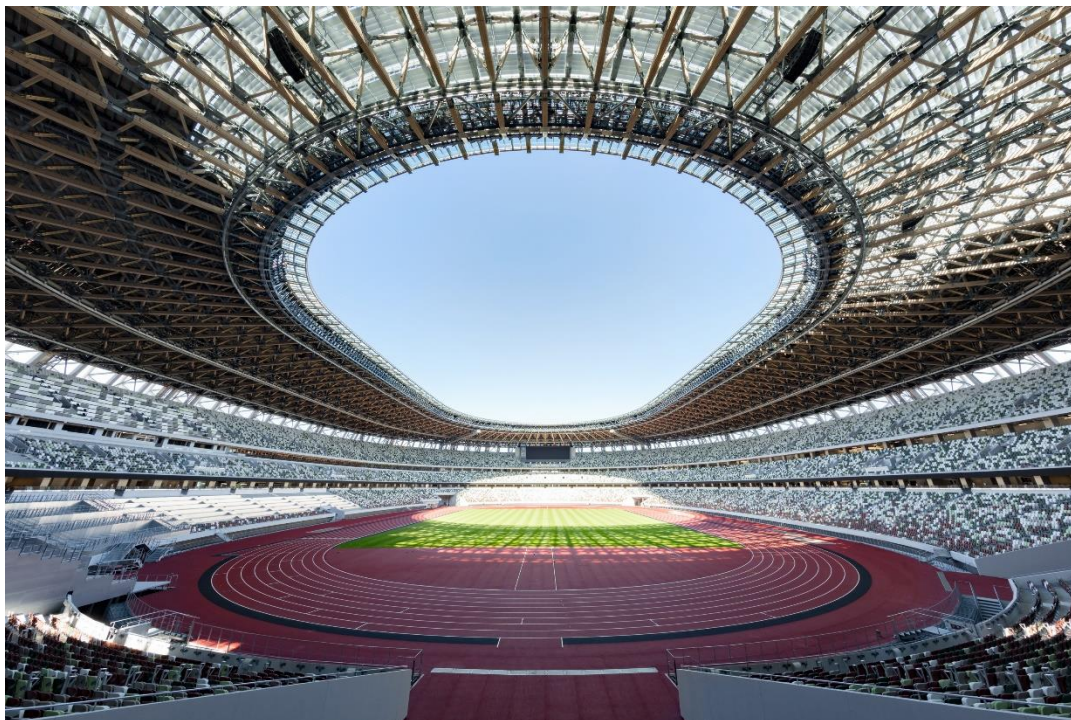
また積雪対策として融雪設備設置工事を実施。



施工トピックス



国立競技場



所在地 東京都新宿区霞ヶ丘町10-1
敷地面積 約109,770㎡
建築面積 約69,610㎡
延床面積 約192,050㎡
建築規模 地下2階、地上5階
構造形式 S造一部SRC造 他

<写真提供：大成建設株式会社>



施主 独立行政法人日本スポーツ振興センター
設計・監理・施工 新国立競技場整備事業 大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体

鉄骨製作（屋根鉄骨） 株式会社駒井ハルテック、川田工業株式会社、日鉄エンジニアリング株式会社
当社施工 当社は国立競技場の屋根鉄骨製作工事の一部を担当しました。

特記事項 屋根トラス鉄骨の下弦材および立体的に配置しているラチス材（斜材）に、鉄骨と木材を組み合わせたハイブリッド構造が採用されています。



施工トピックス



館山自動車道 湊川橋（鋼上部工）工事

（表紙掲載工事）



館山自動車道4車線化事業のうち、君津IC～富津竹岡IC間の鋼上部工5橋の工事

発注機関 東日本高速道路株式会社 関東支社



湊川橋

橋梁形式：3径間連続ラーメン箱桁
橋長×幅員：176.5m×12.2m
鋼重：581t
架設工法：クレーン・ベント工法



牛房谷橋

橋梁形式：単純ポータルラーメン箱桁
橋長×幅員：62.5m×10.6m
鋼重：176t
架設工法：送り出し工法



相川橋

橋梁形式：単純合成2主鈑桁
橋長×幅員：50.0m×10.7m
鋼重：128t
架設工法：桁先行式送り出し工法



白狐川橋

橋梁形式：単純合成2主鈑桁
橋長×幅員：50.0m×10.6m
鋼重：121t
架設工法：桁先行式送り出し工法



沖田橋

橋梁形式：単純合成2主鈑桁
橋長×幅員：48.0m×12.2m
鋼重：112t
架設工法：クレーン・ベント工法



橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組



安全・環境パトロール

12

つくる責任
つかう責任



橋梁架設現場は、都心部、市街地はもちろん山間部、渡河部、海岸付近など自然と共存する場所での作業が多いことから、環境保全に対して細心の注意を払って作業を進める必要があります。

当社は、建設現場関係者（現場責任者、協力会社、店社管理者、安全管理室）と連携し、作業環境の安全性並びに周辺環境への対応の適切性の確認、現場作業従事者の安全意識の高揚を目的に、安全・環境パトロールを毎月、全稼働現場にて実施しています。

2019年度も引き続き、建設現場における作業環境（騒音・振動、水質汚濁、産業廃棄物、現場特有の環境側面等）に重点を置いて、全国に点在する現場のパトロールを実施しました。



パトロール風景



環境に対する個別取組

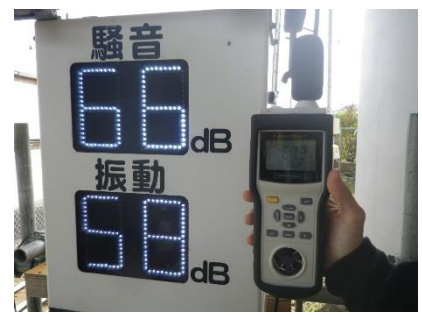
12

つくる責任
つかう責任



■ 騒音・振動対策、排出ガス対策

建設現場の騒音や振動の低減・防止、建設機械からの排出ガス規制の順守を図るため、低騒音・低振動タイプ、排出ガス規制適合の建設機器、重機などを選定しています。また、車両等の待機時の排出ガス抑制のために、アイドリングストップを推奨、指導しています。



オフロード法 《特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（H18.4.1施行）》

オフロード法は、建設機械等のオフロード車^{*}の排出ガスを規制するため、平成18年4月1日に施行されました。施行日以降に製作された新型車は、排出ガス基準を満たす基準適合表示を付したものでなければ国内では使用できません。
※オフロード車：公道を走行しないバックホウ、フォークリフト、ブルドーザー等の特定特殊自動車のことをいいます。



橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組



環境に対する個別取組



第3次排出ガス対策型建設機械指定制度表示（可搬式建設機械の表示）

オフロード法又は道路運送車両法により排出ガス規制を受けていない建設機械（発動発電機、小型バックホウ等）メーカーから申請、国土交通省が指定後、表示が可能。

第3次排出ガス対策型建設機械指定制度で定められた技術基準を満たす。



超低騒音型建設機械表示

「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）の騒音基準値から6dB減じた値を下回る騒音の測定値を得た建設機械。



■ 水質汚濁防止

海、河川付近の橋梁建設現場では、海、河川等の用水路の汚染を防止するため、建設機器、重機などの日常点検・整備を実施し、油漏れ等による海、河川汚濁の防止を心掛けています。また、緊急時に備えてオイル吸着マット等を常備し、作業者に周知しています。





橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組



環境に対する個別取組

12

つくる責任
つかう責任



産業廃棄物の分別

建設現場より発生する廃棄物は、廃棄物ごとにゴミ箱を設置し分別を徹底することで、廃棄量の削減とゴミのリサイクル資源化に努めています。



橋梁現場における地元交流

11

住み続けられる
まちづくりを



12

つくる責任
つかう責任



施工現場各地で工事見学会を開催し、地域との交流を図るとともに、施工内容への理解を深めて頂いています。



新滝見橋地元小学生 写真会



石徹白川橋 見学会



国分川橋 見学会



国分川橋 地域清掃



恋野橋 お絵書き大会



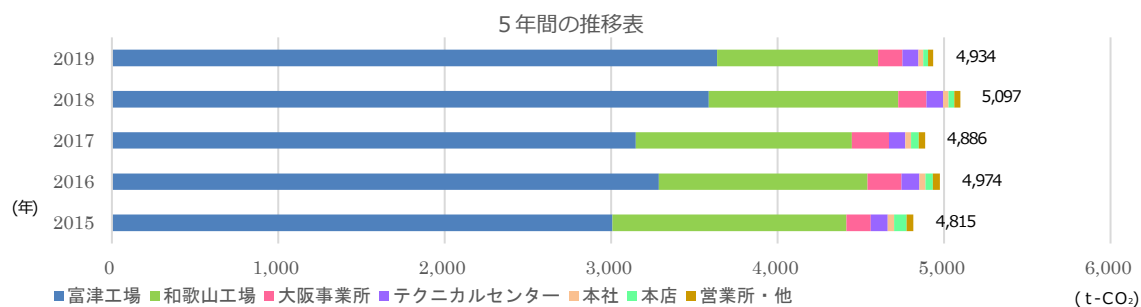


地球温暖化防止への取組

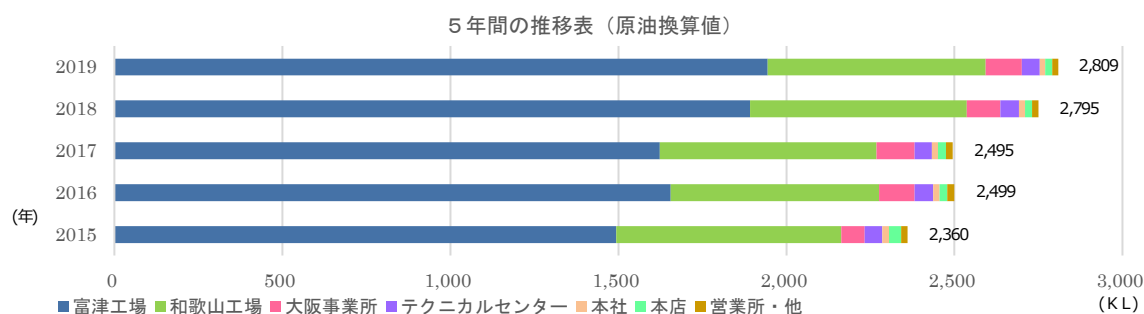
当社は、地球温暖化の原因となるCO₂排出量の削減のため、省エネルギー活動に積極的に取り組んでいます。製造工程では、ピーク電力を抑制する工程立案などさまざまな方法での効率改善化、生産設備導入の際には消費電力量の考慮等、省エネ視点での活動によりCO₂排出量の削減を図っています。



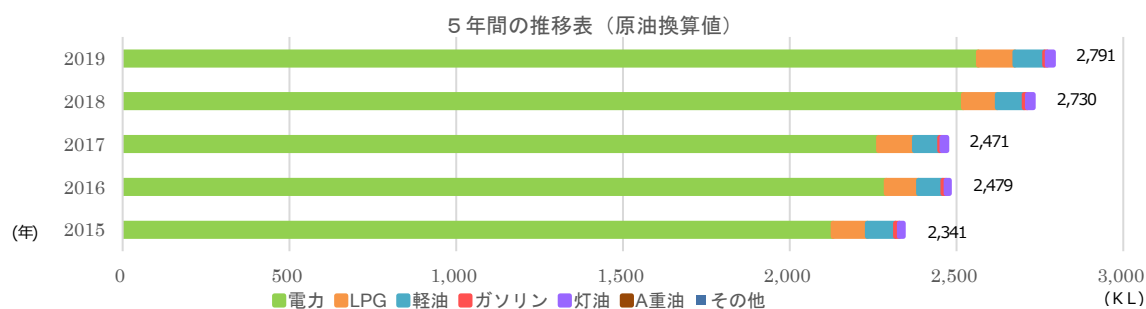
CO₂排出量の推移



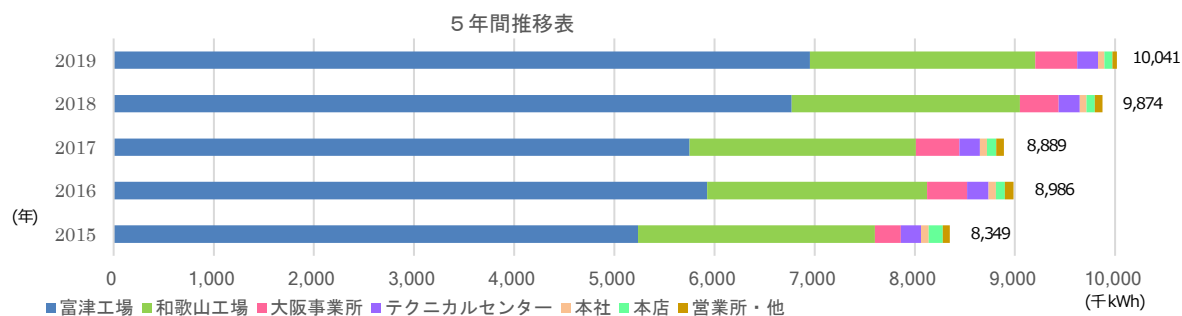
エネルギー使用量の推移



エネルギーの種類の推移



電力使用量の推移





環境製品への取組（実績紹介）

9

産業と経済活動の
発展につなぐ



当社は、開発する製品に対し環境負荷低減を追求しエコプロダクツ（環境配慮型製品）の開発に取り組んでいます。



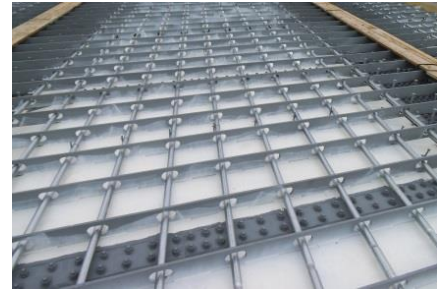
パイプスラブ（鋼コンクリート合成床版）

NETIS 番号：KK-040071-V（2017.4.20 掲載期間終了）

パイプスラブは、リブ（孔明き鋼板）とパイプ（構造用鋼管）とで構成された鋼板パネルがコンクリートと一体化することにより、大きな耐力力と高い耐久性を実現した「鋼コンクリート合成床版」です。

「安（安全、安心）」「新（新技術、新発想）」「短（短工期）」による建設コスト縮減も特徴ですが、その高耐久性ゆえの長寿命化により、架け替えなどの更新期間の長期化が可能となり、施工に係る環境負荷が低減できるという利点があります。

※ パイプスラブは、日本ファブテック㈱、㈱HIインフラシステムおよび当社の3社による共同開発商品です。



らくらくブラケット（落橋防止装置ブラケット）

NETIS 登録：CB-100048-VE

橋梁の落橋防止装置では、下部構造物（橋台、橋脚）の状況を現地調査し、さらにアンカーボルトの施工では既設鉄筋との干渉を避けるため、ブラケットの設計・施工では多大な費用負担と細心の注意が求められ、ブラケットの再製作や改造が必要になることもあります。

「らくらくブラケット」は、施工者の立場から、建設コストの縮減、品質の向上、工期短縮を目指して開発された“工場製品”です。

（既製品化、多様な現場状況への対応システムにより“現場”施工期間の短縮を実現。現場施工による環境負荷の低減に寄与できます。）



アロンブルコート® Z-X、Z-Y工法

NETIS 登録：CB-120013-VR

「アロンブルコート® Z-X、Z-Y工法」は、アクリルゴムを用いてコンクリート表面の剥落・劣化を防止する「コンクリート表面保護工法」で以下のような特長があります。

■「環境に優しい」

有機溶剤を一切含まず、オール水系材料としました。

■「コンクリートに優しい」

水蒸気透過性を従来以上に高め、コンクリート内部に残留している水分を発散できるようにしました。

■「メンテナンスが容易」

既設塗面を剥ぎ取ることなく、重ね塗りが可能です。

（剥ぎ取りの廃棄物を出さないことでECOを実現）

■「安価」

塗り重ね回数を6回から4回に減らし、材料及び施工面での経済的な優位性を実現しました。

※ 「アロンブルコート®Z-X、Z-Y 工法」は、東亜合成㈱と当社の共同開発商品です。

※ 文中の比較対象製品は共同開発者の東亜合成㈱の従来製品です。

※ 表面被覆材（下塗材）の内、アロンブルコート®P-300 は、グリーン購入ネットワーク（GPN）が運営する『エコ商品ねっと』に掲載されている商品です。なお、同サイトは多様な分野の環境情報を掲載し、商品選択の際に比較可能な環境データベースを公平に提供するもので、個別の掲載商品を推奨するものではありません。





会社概要



会社概要

商号 株式会社駒井ハルテック KOMAIHALTEC Inc.
 資本金 66 億 1,994 万円
 株式上場 東京証券取引所 市場第一部
 建設業許可 国土交通大臣 許可 (特-28) 第 142 号
 橋梁、鉄骨、風力発電設備、その他鋼構造物の設計、製作、建設、診断、
 補修、土木・建築工事の設計・請負、風力発電機による売電事業
 ISO9001、ISO14001
<https://www.komaihaltec.co.jp/>



事業所

本社	〒110 - 8547	東京都台東区上野一丁目 19 番 10 号	TEL 03(3833)5101
本店	〒550 - 0012	大阪市西区立売堀四丁目 2 番 21 号	TEL 06(4391)0811
札幌営業所	〒060 - 0001	札幌市中央区北一条西四丁目 2 番 12 号	TEL 011(251)1605
東北営業所	〒980 - 0014	仙台市青葉区本町二丁目 1 番 29 号	TEL 022(227)8724
群馬営業所	〒370 - 0831	群馬県高崎市あら町 129 番 1 号	TEL 027(384)4863
※ 2019 年 9 月 18 日 開設 ISO未認証 (2020 年度取得予定)			
名古屋営業所	〒460 - 0003	名古屋市中区錦二丁目 20 番 8 号	TEL 052(684)8121
和歌山営業所	〒649 - 1122	和歌山県日高郡由良町神谷 805 番 2 号	TEL 0738(65)2841
中国営業所	〒730 - 0036	広島市中区袋町 5 番 38 号	TEL 082(247)4838
九州営業所	〒812 - 0013	福岡市博多区博多駅東二丁目 4 番 17 号	TEL 092(441)3665
富津工場	〒293 - 0011	千葉県富津市新富 33 番 10 号	TEL 0439(87)7470
和歌山工場	〒649 - 1122	和歌山県日高郡由良町神谷 805 番 2 号	TEL 0738(65)1234
大阪事業所	〒555 - 0041	大阪市西淀川区中島二丁目 5 番 1 号	TEL 06(6475)2111
テクニカルセンター	〒270 - 2214	千葉県松戸市松飛台 404 番 1 号	TEL 047(387)0170



関連会社

東北鉄骨橋梁(株)

【 本社 】	〒980 - 0014	宮城県仙台市青葉区本町二丁目 14 番 27 号	TEL 022(221)7511
【 岩沼工場 】	〒989 - 2421	宮城県岩沼市下野郷字新関迎 230 番	TEL 0223(22)1611
(株)シップス	〒270 - 2214	千葉県松戸市松飛台 404 番 1 号	TEL 047(384)5281
(株)プロバンス	〒270 - 2214	千葉県松戸市松飛台 404 番 1 号	TEL 047(388)4630
KH ファシリテック(株)	〒808 - 0027	福岡県北九州市若松区北湊町 9 番 27 号	TEL 093(771)2368



KOMAIHALTEC Inc.